

10月になりました。後期の始まりです。中高では運動会、文化祭のシーズンです。生徒は行事を通して学ぶことも沢山あるはずですが、大人たちはもっと勉強すれば良いのにといい声も聞きます。問題は切り替えですが、これがなかなか難しい。これは私たちも同じかも知れません。日本だけでなく、世界中で政権交代が進みそうですが、これも切り替え。その切り替えをいかにスムーズに行うか、課題はつきません。そのようななか今月もネットワークの活動を報告します。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

9月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

この秋の活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■札幌部会 (No.4)を開催しました。

日時：2012年9月1日(土) 14時30分～16時30分

場所：キャリアバンク セミナールーム (Sapporo55ビル5階)

内容：参加者は14名。まず篠原代表から、夏の経済教室の報告、来年の開催の検討などの後、野間先生(同志社大学)より、「中学教科書で教える経済の仕組み」の資料に基づいて、中学校公民教科書を読み解き、消費、企業、金融の内容ついていかに考え、教えるかに関する問題提起を受けました。ついで、山下先生より高校入試の問題の検討結果の報告があり、今後、定期考査の問題から経済の教え方を考える検討を続けることとなりました。次回は11月10に予定され、札幌の地での活動が順調に進展していることが確認できる会となりました。

内容の詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo004report.pdf>

■東京部会 (No.51)を開催しました。

日時：2012年9月25日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室3

内容：はじめて参加された先生も含め、参加者は14名。新井と石山さん(東証)から夏の経済教室の総括資料が配布され、それに基づいてフリーディスカッションが行われました。中学向けでは実践報告と時事問題の解説が求められていること、高校向けでは講演の数などが検討材料となることなどが指摘されました。また、ゲーム理論が中学、高校とも講演でかなり重点

を置いて紹介されたことをうけて、どこまで教室で教えるべきかの検討が必要との指摘もなされました。東京以外の会場での講義数の増加なども視野に入れた来年度の日程の検討が次回までの課題となりました。篠原代表から今後のワークショップの予定と、支援企業との連携企画などの説明がありました。次いで、来年三月に予定されている年次総会の内容は、労働問題を法教育と経済教育から検討する方向で人選などをすすめることが確認されました。

次回は10月23日（火）予定です。

内容の詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo051report.pdf>

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

これからの主な予定を日程順に掲載します。

### ■大阪部会 (No.30)を開催します

日時：2012年10月13日（土） 18時00分～20時00分

場所：同志社大学大阪サテライト

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka30flyer.pdf>

### ■京都部会 (No.16)を開催します

日時：2012年10月26日（金）19時00分～21時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

内容、参加方法など詳細が決まりましたらネットワークHPでお知らせします。

### ■札幌部会 (No.5)を開催します

日時：2012年11月10日（土） 14時30分～16時30分

場所：キャリアバンク セミナールーム（Sapporo55ビル5階）

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo005flyer.pdf>

---

## 【 3 】 授業のヒント

---

「大きさをそろえる」

今回はちょっと形式的なお話です。プリント授業をされている先生方は多いと思います。大学でも、チョークアンドトークだけの講義はさすがに少なくなっています。そんななか、先生方は配布資料の大きさをそろえていますか？

プリント用紙に関して日本の学校では、これまでB版が主流となっていました。いわゆる「わら半紙（更紙）」です。B版は日本の美濃紙の大きさから出発した日本独自の大きさですが、現

在はドイツで標準化されたA版が世界標準になっています。どちらがよいかはなんともいえませんが、配布される資料を保存する場合はどちらでも大きさがそろっていないと困ったことになります。

東京都では、職員会議配布の資料や学校から保護者向けに出すお知らせなどのプリントはA版に統一するという指導が入って、事務関係の書類はA版に統一されつつあります。でも、授業配布のプリントはそれぞれ先生方のこれまでのやり方で配布されています。かくいう私も、通常の授業で配るプリントはまだB版ですが、総合学習などの新規に作成しなければいけないものや、大学での非常勤の講義用にはA版で作っています。B版に固執しているわけではないのですが、これまでのデータを配置換えして新たに作成するのは正直しんどいのでこんな中途半端になっています。

さて、生徒の立場からは、後で振り返って使えれば、基本どちらでもよいのですが、大きさだけは統一して欲しいという要望が寄せられています。また、紙質も更紙は止めて欲しいという要望もあります。

授業をスムーズに進めるためにも、ファイリングを指導する面からも、自分の配布資料をもう一度点検してみませんか。 (新井)

---

#### 【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

---

領土問題が火を噴いています。背景や歴史的な事情はここでは取り上げませんが、お互いチキンゲームをやって最後は共倒れだけは避けたいものです。そんな時には、簡単でもよいから、ゲーム理論を使って両国の構造を説明したらどうでしょう。この場合は、繰り返しのディレンマゲームになるわけですが、最後はどこかに落としどころを見つける以外には解決策はないはずなので、それがわかれば生徒にとっても冷静に問題を考えるヒントになるのではと思います。ちなみに、イギリスの *Economist* は、表紙に *Could China and Japan really go to war over these?* と尖閣の写真をだし、海がめに *"Sadly,yes"* と言わせています。そんなことにならないための経済教育が必要だと思います。 (新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

(C) Network for Economic Education ◆◇◆◇

---